



Komatsu 高校 学校通信

令和 8 年

2 月

お弁当の持つ特別な時間

2 学年主任 藤原 さおり

子どもたちが進学・就職で家を出て、家事が少なくなり、とても楽になりました。特に、朝の準備が楽になりました。昨年までは、朝、子どもに起きるように声をかけ、お弁当と朝ごはんを作り、洗濯物を干し、・・・というようにバタバタと過ごしていました。ゆっくりと朝ごはんを食べて、子どもにやさしく声をかけて、なんてことは全くできませんでした。「いいかげん起きなさい」「はよ食べて！片付かんやん」「忘れ物ない？」「もう何で今言うんよ。前もって言って」など、朝から数えきれないほどの小言を子どもに浴びせていました。今はというと、自分の身支度と弁当作り、朝食準備だけです。洗濯物も昨年と比べれば、かなり減りました。楽になったけれども、少し寂しいような気がします。

子どもたちが帰省して、一緒にご飯を食べていると、「これ、お弁当によく入ったね」とか「お弁当にこれが入ったらうれしかった」などと高校時代のお弁当の話になりました。子どもたちは、お弁当のおかずで文句を言ったり、感想を言ったりすることはあまりなかったので、そんなにお弁当のおかずを覚えているなんて意外でした。「お弁当にいつも入った〇〇が食べたい」と言うので、作ると、すぐに食べないので、「食べるの？」と聞くと、「お弁当ではいつも冷めたやつやったけん、冷ましてから食べたいんよ」と言い、冷めるまで待って食べて、「そうこれこれ！」と嬉しそうでした。そういう姿を見て、凝ったお弁当を作っていたわけでもないのに、私が作った弁当を覚えていてくれたんだ、と嬉しくなり、同時に、もう少しちゃんと作ればよかった、と反省しました。

お弁当には不思議な魅力があります。料理は、出来立てあつあつがおいしいのはもちろんですが、お弁当で冷めたものを食べるのもまたいいですね。子どもが小さい頃は、ご飯をわざわざお弁当にして食べさせたこともありました。なかなか食べないものも、お弁当箱に入っているとすんなり食べ、残すことはありませんでした。お皿に盛るのをお弁当箱に入れただけなのに、喜んで食べていました。「毎日お弁当にして」と言われたこともあります。そんなふうにお弁当を喜んでいたのを懐かしく思い出します。

皆さんも、毎日お弁当を食べていますね。保護者が作ってくれたお弁当、自分で作ったお弁当、お店で買ったお弁当やパン、いろいろだと思いますが、教室でみんなと食べるお弁当は、家族と食べる食事とはまた違った楽しさがあります。高校生活で食べるお弁当の時間を大切にしたいな、と思います。作ってくれた人に感謝して、おいしく楽しく食べてください。お弁当が空になっているのを見ると、今日も元気だったんだな、と安心しますから。

【3月の予定表】

日	曜	行 事
1	日	卒業証書授与式
2	月	3/1(日)の振替休日
3	火	40分授業
4	水	水①～②限の授業+入試準備
5	木	↓ 一般入試
6	金	↓
7	土	
8	日	
9	月	40分授業 校納金引落
10	火	40分授業
11	水	40分授業
12	木	朝清掃 木①～④ 40分授業 探究学習成果報告・研修会③④限
13	金	金①～④40分授業+清掃・ワックスがけ
14	土	
15	日	
16	月	朝清掃 月①～④限 40分授業
17	火	朝清掃 火①～④限 40分授業
18	水	√朝清掃 水③～⑥限 40分授業 合格発表10:00
19	木	大掃除 表彰伝達 終業式(体育館) HR活動
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	合格者登校日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	離任式
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

裕也先生別れの一句

旅立ちの 桜の丘 空き机